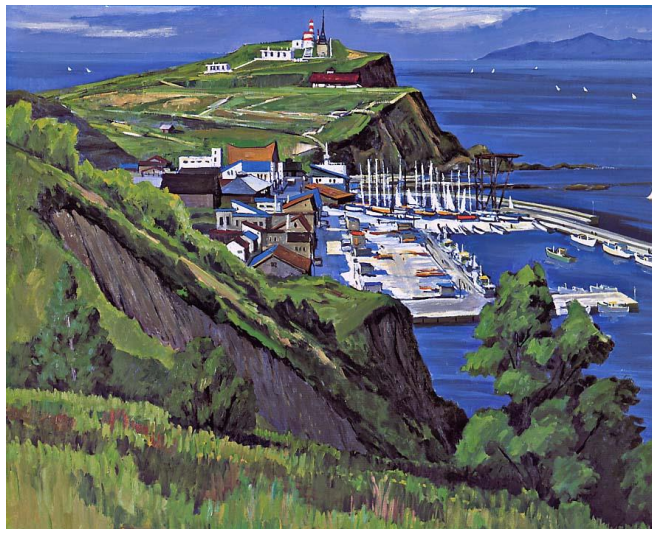




トランスポーター 1973年 第35回一水会展「一水会賞」



祝津・夏 1984年



北の集落 1997年

富澤 謙は、港や運河など小樽らしさ溢れる風景を描き、道展・一水会展で長く活躍してきた風景画家です。北海道学芸大学卒業後、小樽で美術教師となった富澤は、野外での写生を大切に、生徒を引率した小樽公園で、東京から帰省していた中村善策と偶然出会い交流を深めます。風景画家としての富澤の歩みは、善策の信条である“現場主義”を受け継いだ写実の精神に支えられています。富澤は具象絵画の本流から離れることはなく、多くの作品は、生まれ育った小樽の運河、積丹海岸など故郷の風景を鮮やかに魅力的に描いています。

代表作が生まれた運河は、旧運河の北浜橋からの眺めに絞った作品が多く、中景には北海製罐や水面に浮かぶ舟を取り入れ、重厚な佇まいを表現しています。また、1990年代からは、たびたびヨーロッパに赴き、特にイタリア各地の風景に力を注ぎました。

本展は、中村善策の系譜に連なる風景画家、富澤 謙の、壮大なスケール感と寒色を主とした爽やかな色彩を特徴とした風景画を、これまでの代表作を選びすぐり展覧するものです。

●富澤 謙

1934(昭和9)年小樽に生まれる。1954年北海道学芸大学(現北海道教育大学)卒業。1959年道展初入選。以後、道展を中心に出品し奨励賞(1961)、ホクレン賞(1962)、会友賞(1966)を経て、1967年会員となる。そのうち中村善策の所属する一水会展に出品しはじめ、一水会賞(1973)、会員佳作賞(1981)を受けた。1987年改組日展入選(89、90年も出品)。その作品は地元市民に愛され、1986・87年小樽信用金庫のカレンダーに採用。市立小樽美術館でも「油彩画の魅力 風景画の世界」、「善策先生の思い出」写生地めぐり、「風景写生の描き方」などの講師を務めた。北海道鹿追町に作品を常設展示する曙美術館が開館(のち閉館)。1995年からスペイン、イタリア(シチリア)、マルタ共和国、ヴェネツィア、マテーラ、トスカーナ地方)取材。2001年「グループ環」第2回展から参加。2005年北海道新聞「まち見て歩き」の挿絵を担当。



市立小樽美術館

〒047-0031 小樽市色内1丁目9番5号 電話 0134-34-0035 fax 0134-32-2388

KEN TOMISAWA

チャリティ

関連企画

富澤 謙が見つめた風景

2022年 10/8(土)~10/23(日)

営業時間: AM10:00~PM18:00

宮井額縁店 サロン・ド・宮井

〒047-0024 小樽市花園1丁目3番3号 花銀商店街 TEL0134-23-1607

<http://www.art-miyai.jp/>

*都合により出品作品が変更になる場合があります。

富澤 謙が描いた運河や祝津など小樽風景の数々、花などの小品をご希望の方に特別価格にて販売いたします。販売収益の一部は、市立小樽美術館協力会に寄附され、美術館の設備・事業の充実に活用されます。皆様のご来場をお待ちしております。



小樽富岡カトリック教会



ポピー